

2026年度  
「心理演習」「心理実習」  
受講のための選考試験ガイダンス

公認心理師教育推進室

桑原知子 特任教授（室長）

波田野茂幸 教授（副室長）

北原知典 教授

伊藤匡 准教授

# はじめに～公認心理師資格について

- 公認心理師は、2015年に成立した「**公認心理師法**」に基づく、**心理職の国家資格**です。放送大学では、2019年度第1学期から公認心理師対応カリキュラムを学部段階で開設しています。
- 公認心理師は国家資格ですので、**認定心理士や臨床心理士とは異なり、教育の方法、修得すべき科目、時間数などが、法律で厳密に定められていて、それを遵守しなくてはなりません。**

# 公認心理師資格取得までの流れ

## 放送大学教養学部

「大学における必要な科目」  
(25科目52単位)をすべて取得して  
全科履修生として卒業

- ・「心理演習」「心理実習」を除く科目については、選科・科目履修生として履修が可能。
- ・「心理演習」「心理実習」には選考試験があり、選考試験合格後、両科目を履修するには全科履修生であることが必要。

## 大学院修士課程

450時間以上の実習を含むカリキュラムをもつ他大学院で、「大学院における必要な科目」の単位をすべて修得して修了

## 2年以上の実務経験

法の規定する認定施設での  
実務経験2年以上

公認心理師試験受験

公認心理師資格取得

※放送大学は学部段階のみ対応。  
大学院のカリキュラムには対応していません。

# 注意すべきこと

- 学部段階での要件を満たすだけでは公認心理師試験の受験資格を得ることができないのです。
- 「大学における必要な科目」の単位をすべて修得し卒業した上で、大学院において「大学院における必要な科目」の単位をすべて修得して修了、あるいは、法の規定する認定施設にて2年以上の実務経験が必要です。

# 公認心理師法第7条第2号に規定する認定施設

(令和7年1月現在)

1	少年鑑別所及び刑事施設
2	一般財団法人愛成会 弘前愛成会病院
3	裁判所職員総合研修所及び家庭裁判所
4	医療法人社団至空会 メンタルクリニック・ダダ
5	医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック
6	学校法人川崎学園 川崎医科大学附属病院
7	学校法人川崎学園 川崎医科大学総合医療センター
8	社会福祉法人風と虹 筑後いずみ園
9	社会福祉法人楡の会

厚生労働省ウェブサイト

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_26518.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26518.html)より抜粋

# 大学院における実習

また、一方の「大学院を修了する」方法においても、450時間の実習を受けることが義務付けられています。

# 「心理演習」「心理実習」受講のための 選考試験について

- 学部段階で、「心理演習」「心理実習」を受講する必要がありませんが、これらの科目もまた、法律によって定められており（公認心理師法施行規則第三条）、その結果受講人数が制限されます。また、「心理実習」では、病院をはじめとして、学外の臨床現場に見学に行きますが、先方の都合もあり、一回の見学について受け入れ人数が制限されます。（たとえば、病院などの場合、5人程度など）
- こうした制限と、放送大学における公認心理師対応可能教員数とを総合的に勘案して、定員が30名と定められました。

- 放送大学では入試がないため、誰もが講義を受講できます。しかし、この公認心理師カリキュラムの「心理演習」「心理実習」においてはそれが適用されず、人数を制限せざるをえません。
- 多くの人に受講機会が与えられることを願う一方で、公認心理師という、人のこころに接する仕事に従事する人材の質を担保し、教育の質を保証するため、こうした厳しいルールや制限が課されていることをご理解ください。

# このガイダンス動画で説明すること

	内容	担当
1.	放送大学の公認心理師カリキュラムの概要	波田野 茂幸 教授 (副室長)
2.	放送大学の「心理演習」「心理実習」の概要	北原 知典 教授
3.	「心理演習」「心理実習」受講のための 選考試験の実施概要	伊藤 匡 准教授
4.	課題レポートについて	波田野 茂幸 教授 (副室長)

# 放送大学の公認心理師 カリキュラムの概要

波田野茂幸 教授（副室長）

# 公認心理師カリキュラムについて

- 公認心理師試験受験資格要件を満たすには、公認心理師法施行規則（平成29年文部科学省・厚生労働省令第3号）に規定されている公認心理師になるための「必要な科目」の単位を修得する必要があります。教科だけではなく、実習演習科目もあります。
- 大学で25科目、大学院で10科目あり全ての単位を修得する必要があります。

# 大学（学部）における必要な科目（25科目）

1.	公認心理師の職責	10.	神経・生理心理学	19.	司法・犯罪心理学
2.	心理学概論	11.	社会・集団・家族心理学	20.	産業・組織心理学
3.	臨床心理学概論	12.	発達心理学	21.	人体の構造と機能及び疾病
4.	心理学研究法	13.	障害者・障害児心理学	22.	精神疾患とその治療
5.	心理学統計法	14.	心理的アセスメント	23.	関係行政論
6.	心理学実験	15.	心理学的支援法	24.	心理演習
7.	知覚・認知心理学	16.	健康・医療心理学	25.	心理実習（80時間以上）
8.	学習・言語心理学	17.	福祉心理学		
9.	感情・人格心理学	18.	教育・学校心理学		

放送大学学部において開設される  
公認心理師になるために必要な科目

# 大学における必要な科目と 放送大学の対応科目について（1）

番号	大学における必要な科目	必要 単位数	放送大学の対応科目	選考試験の 出願資格 要件科目
1	公認心理師の職責	2	心理職の専門性（'20）－公認心理師の職責－	○
2	心理学概論	2	心理学概論（'24）〔心理学概論（'18）〕	○
3	臨床心理学概論	2	臨床心理学概論（'20）	○
4	心理学研究法	2	心理学研究法（'20）〔心理学研究法（'14）〕	
5	心理学統計法	2	心理学統計法（'21）	
6	心理学実験	2	<b>【1単位×2科目必要（面接授業）】</b> 心理学実験1, 2, 3 〔心理学実験1（Web）, 2（Web）, 3（Web）〕 <b>【2単位×1科目必要（ライブWeb授業）】</b> 心理学実験（基礎）	
7	知覚・認知心理学	2	知覚・認知心理学（'23）〔知覚・認知心理学（'19）〕	

# 大学における必要な科目と 放送大学の対応科目について（2）

番号	大学における必要な科目	必要 単位数	放送大学の対応科目	選考試験の 出願資格 要件科目
8	学習・言語心理学	2	学習・言語心理学（'25） 〔学習・言語心理学（'21）〕	
9	感情・人格心理学	2	感情・人格心理学（'21）	
10	神経・生理心理学	2	神経・生理心理学（'22）	
11	社会・集団・家族心理学	2	社会・集団・家族心理学（'20）	
12	発達心理学	2	発達心理学概論（'17）	
13	障害者・障害児心理学	2	障害者・障害児心理学（'21）	
14	心理的アセスメント	2	心理的アセスメント（'20）	○

# 大学における必要な科目と 放送大学の対応科目について（3）

番号	大学における必要な科目	必要 単位数	放送大学の対応科目	選考試験の 出願資格 要件科目
15	心理学的支援法	2	心理カウンセリング序説（'21） －心理学的支援法－	○
16	健康・医療心理学	2	今日のメンタルヘルス（'23） －健康・医療心理学の実践的展開－ 〔今日のメンタルヘルス（'19） －健康・医療心理学の実践的展開－〕	○
17	福祉心理学	2	福祉心理学（'21）	
18	教育・学校心理学	2	教育・学校心理学（'20）	
19	司法・犯罪心理学	2	司法・犯罪心理学（'20）	
20	産業・組織心理学	2	産業・組織心理学（'20）	

# 大学における必要な科目と 放送大学の対応科目について（４）

番号	大学における必要な科目	必要 単位数	放送大学の対応科目	選考試験の 出願資格 要件科目	
21	人体の構造と機能及び疾病	4	2	人体の構造と機能（'22）－人体の構造と機能及び疾病 A－ 〔人体の構造と機能（'18） －人体の構造と機能及び疾病 A－〕	
			2	疾病の成立と回復促進（'25）－人体の構造と機能及び疾病 B－ 〔疾病の成立と回復促進（'21） －人体の構造と機能及び疾病 B－〕 〔疾病の成立と回復促進（'17） －人体の構造と機能及び疾病 B－〕	
22	精神疾患とその治療	2	精神疾患とその治療（'20）		
23	関係行政論	2	心理臨床における法・倫理・制度（'21）－関係行政論－	○	
24	心理演習	2	心理演習【面接授業】		
25	心理実習（80時間以上）	2	心理実習【面接授業】		

2026年度「心理演習」「心理実習」受講のための  
 選考試験受験までに単位修得が必要となる科目  
 (出願資格要件科目) は、番号に○がついている7科目

①	公認心理師の職責	10	神経・生理心理学	19	司法・犯罪心理学
②	心理学概論	11	社会・集団・家族心理学	20	産業・組織心理学
③	臨床心理学概論	12	発達心理学	21	人体の構造と機能及び疾病
4	心理学研究法	13	障害者・障害児心理学	22	精神疾患とその治療
5	心理学統計法	⑭	心理的アセスメント	⑳	関係行政論
6	心理学実験	⑮	心理学的支援法	24	心理演習
7	知覚・認知心理学	⑯	健康・医療心理学	25	心理実習 (80時間以上)
8	学習・言語心理学	17	福祉心理学		
9	感情・人格心理学	18	教育・学校心理学		

# 放送大学の「心理演習」 「心理実習」の概要

北原知典 教授

# 公認心理師法で規定されている科目内容

## Ⅲ - 24 心理演習

知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次の（ア）から（オ）までに掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイング）を行い、かつ、事例検討で取り上げる。

（ア）心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得

（１）コミュニケーション（２）心理検査（３）心理面接

（４）地域支援等

（イ）心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成

（ウ）心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ

（エ）多職種連携及び地域連携

（オ）公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解

『公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定する公認心理師となるために必要な科目の確認について』（令和6年4月1日一部改正）より <https://www.mhlw.go.jp/content/000712061.pdf>

# 公認心理師法で規定されている科目内容

## Ⅲ - 25 心理実習（80時間以上）

- ① 実習生が、次の（ア）から（ウ）までに掲げる事項について、主要5分野の施設において、**見学等による実習を行いながら**、当該施設の実習指導者又は実習担当教員による指導を受けるべきこと。ただし、当分の間、**医療機関での実習を必須とし**、医療機関以外の施設における実習については適宜行うこととしても差し支えないこと。
- ② 実習担当教員が、実習生の実習状況について把握し、次の（ア）から（ウ）までに掲げる事項について**基本的な水準の修得**ができるように、実習生及び実習指導者との連絡調整を密に行う。
  - （ア）心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ
  - （イ）多職種連携及び地域連携
  - （ウ）公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解

『公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定する公認心理師となるために必要な科目の確認について』（令和6年4月1日一部改正）より <https://www.mhlw.go.jp/content/000712061.pdf>

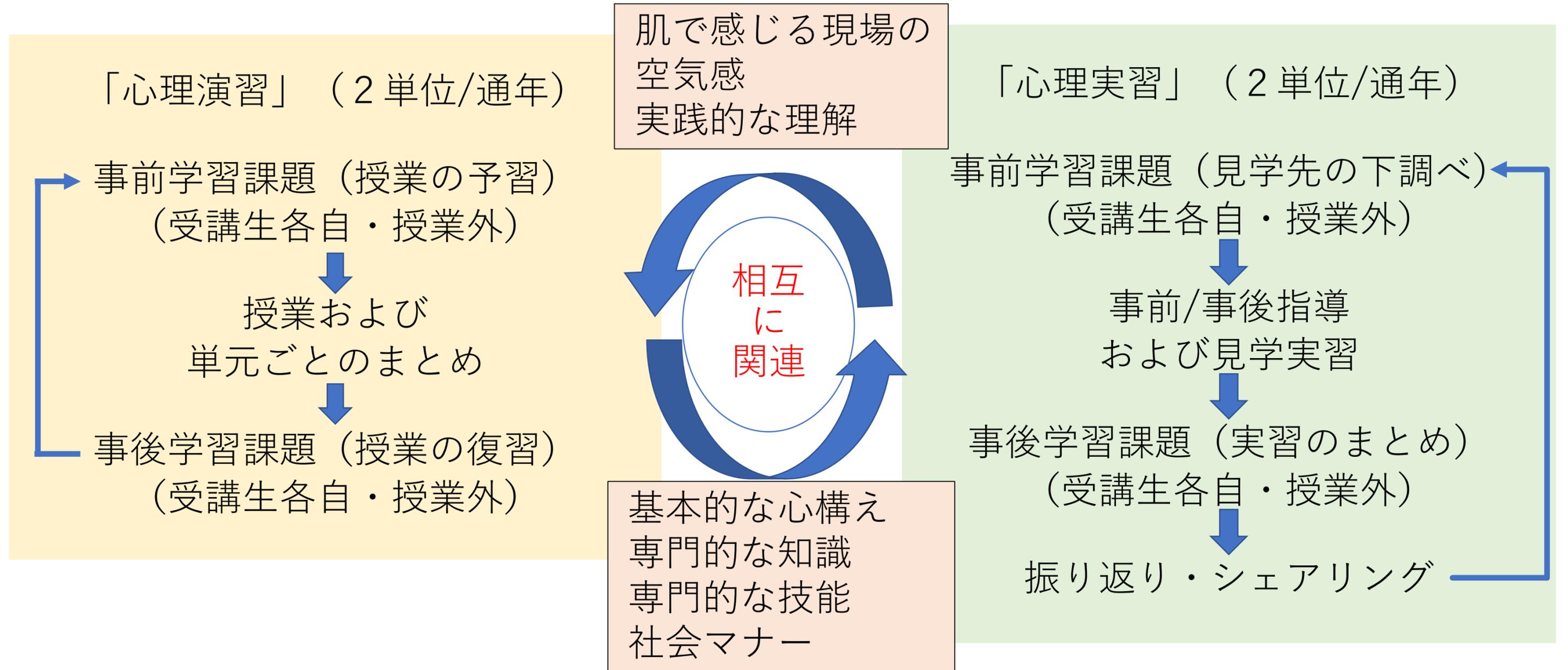
# 放送大学における「心理演習」「心理実習」 の基本的な目標

## 【共通する基本的な目標】

- 臨床現場で必要とされる基本的な知識、技能および姿勢を修得する。
- 臨床現場の空気感を肌で感じる体験を通し、臨床的な感覚を体感する。

評価：①出席状況 ②課題の提出および内容  
③授業への主体的な取り組み・姿勢  
④単位修得のためのレポート課題の内容 等

# 「心理演習」・「心理実習」の進め方（方針）



# 「心理演習」・「心理実習」を履修する際の 注意事項

1. 「心理演習」と「心理実習」は「一体の科目」として取り扱います。どちらか1科目のみを履修したり、どちらか1科目のみを単位認定することはできません。
2. 「心理実習」の受講には、授業料の他に別途実習費（50,000円）がかかります。
3. 「心理演習」「心理実習」の日程等詳細については5月中旬に放送大学ウェブサイト「公認心理師」ページにて公表予定です。  
(<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/qualification/psychologist3/>)

「心理演習」「心理実習」  
受講のための選考試験の実施概要

伊藤 匡 准教授

# 対象者

「心理演習」「心理実習」受講のための選考試験（以下、選考試験）の対象者は以下の出願資格要件を満たすこと。

- ① 2026年度「心理演習」「心理実習」受講のための選考試験ガイダンスを受講していること。
- ② 2026年度「心理演習」「心理実習」受講のための選考試験課題レポートを提出済であること。
- ③ 2025年度の第1学期までに本学で開講されている「大学における必要な科目」のうち指定された7科目の単位を修得済であること。  
（1「公認心理師の職責」、2「心理学概論」、3「臨床心理学概論」、14「心理的アセスメント」、15「心理学的支援法」、16「健康・医療心理学」、23「関係行政論」の7科目に対応する本学の対応科目（公認心理師リーフレット及び選考試験要項参照））
- ④ 日本国内に居住し、郵便で連絡可能な方。

# 「心理演習」「心理実習」受講のための 選考試験ガイダンス

- 本動画のことです。
- ガイダンスの内容をスライドでも確認できます。放送大学ウェブサイト「公認心理師」ページからアクセスしてください。  
(<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/qualification/psychologist3/>)
- 視聴可能期間：2025年4月7日（月）～6月4日（水）

# 選考試験 ～第1次選考～

- 試験方法：CBT方式（Computer Based Testing）により、PCを使用して試験を行います。
- 試験会場：外部試験会場（各都道府県に1か所以上）
- 出題形式：選択式
- 試験日時：2025年9月12日（金）～10月5日（日）のうちいずれか1日
- 出題範囲：「大学における必要な科目」のうち6「心理学実験」および、24「心理演習」、25「心理実習」を除く22科目。
- 合否発表：2025年11月5日（水）10時ごろ 本学ウェブサイトで発表

※試験会場に設置されたPC、マウスおよびキーボードを使用して解答する方式ですので、マウス操作や文字入力スキルが必要となります。

※第1次選考合格者には、第2次選考（面接試験）の日時等が記載された書類を郵送します。

# 選考試験 ～第2次選考～

- 第1次選考の合格者に対して面接試験を行い、実習施設等での実習遂行能力や適性および「心理演習」「心理実習」受講にあたっての意欲などを判定します。
- 最終合格者は、第1次選考および第2次選考の結果に基づき決定します。
- 試験日時：2025年11月22日（土）または11月23日（日）のうち指定された日時
- 試験会場：放送大学本部
- 集合時間：上記日程の9時から18時の間で本学が指定します。
- 最終合否発表：2025年12月1日（月）10時ごろ 本学ウェブサイトで発表

※個人の事情による日時の変更等には応じておりませんので、あらかじめご了承ください。

# 選考試験出願について

- インターネットでの出願のみとなります。
  - 選考試験出願期間：2025年8月27日(水)～9月9日(火)
  - 選考料：20,000円
- ※「選考試験出願資格要件」を満たしていない方は、出願できません。
- ※出願時に選考料納付が必要になります。

# 放送大学公認心理師学部段階カリキュラム に関するお問い合わせ先

放送大学 連携教育課 公認心理師係  
お問い合わせメールアドレス

[k.shinri@ouj.ac.jp](mailto:k.shinri@ouj.ac.jp)

※回答までに時間がかかる場合があります。

※選考内容（出題問題の内容を含む）および合否の問合せ等には  
応じておりません。

# 課題レポートについて

波田野茂幸 教授（副室長）

# 課題レポートとは

- 課題レポートの提出は選考試験受験のための出願資格要件です。
- 課題レポートを作成することにより、選考試験ガイダンスの内容を理解しているか、公認心理師資格について理解しているかについて、面接者が受験者について知ることを目的とします。
- 課題レポートは選考試験第1次選考の評価には影響しません。

# 課題レポートについて

- 字数制限：1200字以上、1500字以下
- 課題用紙：放送大学ウェブサイト「公認心理師」ページからダウンロード（PDF形式）  
(<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/qualification/psychologist3/>)
- 課題レポートは手書きで作成すること。

# 課題レポートの提出について

- 提出先：〒261-8586  
千葉県美浜区若葉2-1-1  
放送大学 連携教育課 公認心理師係 行
- 提出方法：角2封筒（A4を折り曲げずに入れられる大きさ）で、  
封筒表書きに **選考試験課題レポート在中** と朱書きの  
うえ、追跡可能な方法（簡易書留等）で郵送すること。
- 提出期間： **2025年5月19日（月）～6月4日（水）（必着）**

# 課題レポートの内容

- 課題レポートの内容は放送大学ウェブサイト「公認心理師」ページにアクセスして、そこに書かれているテーマについて書いていただきます。

(<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/qualification/psychologist3/>)

- 課題レポートの内容に関するファイルにはパスワードがかけられています。
- パスワードは口頭で述べます。間違えないようにしてください。

さいごに

桑原知子 特任教授 (室長)

# さいごに

心理臨床の仕事は、誰もがすぐに従事できる仕事ではなく、高度の専門性を有する仕事ですので、長期の厳しいトレーニングを経て初めて、実際の現場で役に立つ人材が育つと考えられます。

しかし、こうした困難なプロセスがあったとしても、心理臨床の仕事は、それを打ち消すような、興味深く、やりがいのある仕事でもあります。

また、公認心理師カリキュラムとして開講されている数々の科目は、すべて現代的意義をもち、多くの学びが得られるものでもあります。単なる資格取得の手段としてではなく、本来の学びの対象として、これらの科目を受講していただくよう、切に願っています。

そして、このプロセスの第一歩としての「選考試験」もまた、貴重な学びの一助となりますよう、祈っております。